場所　１年３組教室

第１学年３組　社会科学習指導案

授業者　川本　哲大

１　単元　「世界の諸地域　アジア州」
～アジア・アジアパラ競技大会から見えるアジアの課題～
探究課題「なぜ、アジア・アジアパラ競技大会を、いろんな国で開催しないのか？」

２　本時の指導

（１）段階　「活用」　６／７　時間

（２）目標

・アジア・アジアパラ競技大会の開催国が偏る理由について、多面的・多角的に考え、自分なりの言葉で表現することができる。　（「活用」に関わる目標）

（３）本時の指導展開

時間	学習活動	教師の手だてと支援
0	１　学習課題を設定する。	・前時のまでの活動を想起し、本時の学習活動について共有して、本時の学習課題を設定する。
	学習課題　なぜ、アジア・アジアパラ競技大会を、いろんな国で開催しないのか？	
5	２　グループで話し合う。 ・インフラの視点から考えると、数万人を収容できる競技場や選手が宿泊する選手村、交通網等の施設がないと開催できない。 ・経済の視点から考えると、とても費用がかかる大会だから、経済発展していない国では苦しい。 ・自然や気候の視点から考えると、中央アジアのような山が多い国では選手や観客の移動が大変。 ・資源の視点から考えると、近年カタール等の西アジアで開催ができるようになったのは、石油や天然ガスで得た資金が関係している。	・自分たちで話し合いを行うことができるように、大判ホワイトボードを教室内の４カ所に設置し、自由に書き込むことができるようにする。 **◎これまでの学びを生かして考えられるように、追究の視点と地域を表にしてまとめられるようにする。** ・話し合いの中で、大きな大会を開催できる国の条件は何かを捉えられるように、どんな国で開催ができるのか、自分たちでまとめるように指示する。 ・幅広い考えを自分の考えに取り入れられるように、発表者を意図的に指名して、各グループでの話し合いの報告を全体の場で行う。
25	３　最多開催国がタイの理由を追加資料から考える。 ・タイはアジアの真ん中にある。 ・航空路線で多くの国とつながっている。 ・多くの国とのつながりがあることも大切な要因になる。	・考える際に、資料を根拠にすることができるように、タイの航空路線を白地図に写した物を提示する。 ・タイで開催した４回の大会のうち、２回は開催予定国の都合が悪くなり、その国の代わりに開催したことを伝える。
40	４　振り返りを書き、発表する。 「開催国の偏りには、経済の面が大きく関係していると思いました。また、位置や国との関係も大きく関係しており、今後、開催国を増やしていくためには国同士の繋がりも大切だと分かりました。」	・本時の学習内容を踏まえて探究課題に迫ることができるように、「開催国に偏りがある理由」という視点で振り返るように指示する。 ・新たな探究に向かえるように、大会スローガンを紹介し、達成できているかを問いかける。

３　評価

・アジア・アジアパラ競技大会の開催国が偏る理由について、多面的・多角的に考え、自分なりの言葉で表現することができたか。
（班での関わり合いの様子　ワークシートへの記述、振り返りの内容から判断する。）